

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大を受けた奄美群島の取組について

観光産業における事例

●クルーズ船の寄港中止

奄美市においては、4月～9月は全て寄港を取りやめ。10月以降も中止が相次ぐ

●群島内の伝統文化・イベント等の中止や規模の縮小

※参考：瀬戸内町のシーカヤックマラソンや徳之島の闘牛大会の中止
与論十五夜踊り(国指定重要無形民族文化財)を規模縮小

●スポーツ合宿の中止

●航空機の運休・減便

・緊急事態宣言期間においては、日本航空、スカイマーク、ピーチ・アビエーションが運休や減便を実施。現在も減便が行われている路線もある。

上記を踏まえた観光需要の落ち込みにより、観光客や宿泊客の減少がみられ、特に観光業、宿泊業、飲食業への影響が顕著となっている。

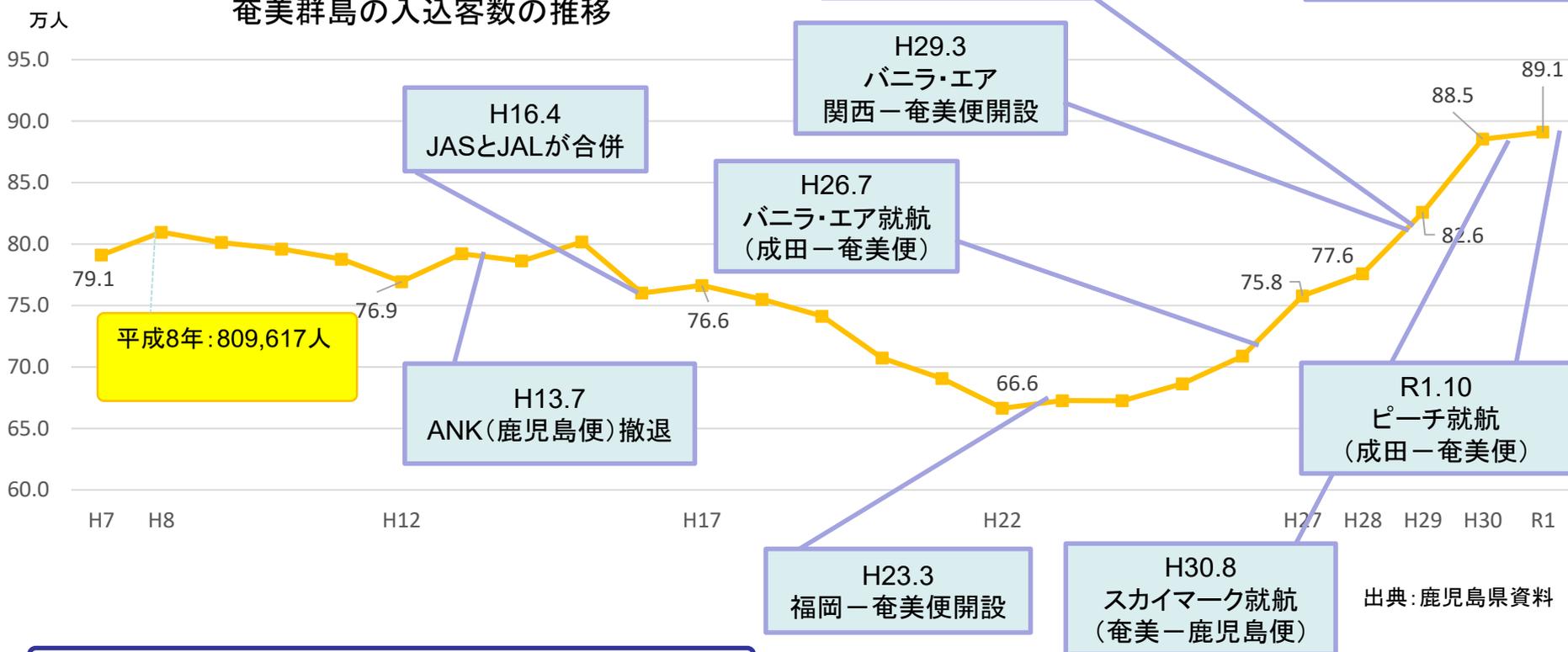
その他の影響等

・経済活動の縮小による消費の落ち込みや航空便の減便などにより、農水産物の出荷にも影響が出ている。

・公共事業においても、業者の営業自粛や資材の納品の遅延、島内での確保が難しい特殊事業者が来島できないなど、一部では工期に遅れが出ているものもある。

入込客数の推移

奄美群島の入込客数の推移



【参考】令和2年度 観光動向調査(延べ宿泊客数)

(単位: 人、%)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
奄美地区 (10施設)	R2年	20,356	22,527	17,940	6,682	4,201	11,536	20,455
	R1年	21,046	22,215	25,839	27,464	27,549	49,518	33,869
	前年比	▲3.3%	1.4%	▲30.6%	▲75.7%	▲84.8%	▲76.7%	▲39.6%

※サンプル調査(対象施設は、月により変動有り)

出典: 鹿児島県資料

医療体制や対応

- ・鹿児島県や保健所と連携を取りながら、市町村ごとに対応を行っている。
- ・奄美大島5市町村や徳之島3町、沖永良部島2町は、共同で「新型コロナウイルス感染症対策会議」を開くなど、各島でまとまってコロナウイルスへの対策や取組を行っている。
 - 群島内における感染症指定医療機関(1か所): 県立大島病院(奄美市)
※今後PCR検査機を導入予定
 - 群島内を管轄する保健所
 - ・名瀬保健所(管轄: 奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町)
 - ・徳之島保健所(管轄: 徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町)

情報の提供

- ・奄美群島12市町村それぞれのHPにて様々な情報を公開。
- ・奄美大島5市町村、徳之島3町においては、それぞれ「奄美大島コロナ警戒レベル」「徳之島コロナ警戒レベル」を公開し、主な行動の目安を策定。
- ・「奄美大島新型コロナウイルス感染症対策本部」では、「島旅のしおり」を発行し、来島前からの体調管理への注意喚起を行っている。
- ・GW前には、奄美群島12市町村長の連名にて来島自粛を呼び掛けた。 ※現在は解除。
- ・防災行政無線等により、継続的に感染防止の呼び掛けを行っている。

水際対策

- ・鹿児島県と各市町村が連携し、空港や港において対策を実施。
 - 県: サーモグラフィーを使用した到着客の検温
 - 市町村: 追跡調査の協力依頼及び実施。検温への対応等。

新型コロナウイルス・与論町での感染状況

- ◆ 人口5,179人に対し感染者数55人のため、**町民の約1%が感染した。**
- ◆ 感染者が増加し、島内医療機関での受入れが困難となったため、多くの患者を島外に搬送する必要があった。
- ◆ 来島自粛依頼や自発的な飲食店等の営業自粛等により、**約10日で抑え込みに成功した。**
- ◆ 町の来島自粛要請は**約1か月で解除**となった。

7月 単位:人

	男	女	計
7月22日	0	1	1
7月23日	8	3	11
7月24日	7	4	11
7月25日	2	4	6
7月26日	3	2	5
7月27日	1	1	2
7月28日	5	1	6
7月29日	2	0	2
7月30日	1	1	2
7月31日	3	2	5
小計	32	19	51

10日

8月 単位:人

	男	女	計
8月1日	1	0	1
8月2日	0	1	1
8月5日	0	1	1
8月6日	0	1	1
8月7日	1	0	1
小計	2	3	5

※鹿児島市発表の報告1名を
与論島内クラスターに振り

合計	34	22	56
----	----	----	----

※与論島内での感染者数は55人

町内に関する動向

7月24日 **【来島自粛要請】**

7月31日 一連の感染をクラスターと判断(鹿児島県)

8月 7日 町長からのメッセージ

- ① 与論島への不要不急の来島の当面の自粛のお願い
- ② 買い物など必要最小限の活動をのぞき外出の自粛のお願い
- ③ 3密対策の徹底による感染予防対策のお願い
- ④ 感染者などへの不当な差別や偏見防止のお願い

8月 9日 与論町新型コロナウイルス緊急保健支援チームからの報告

- ① 8月8日以降、新規の発生者なし。
- ② **他の国内事例と比べても新規の感染発症例が少なくなる状況が早く、町民の適切な対策の実施が功を奏したと思われる。**

8月14日 与論町がマスク9万7335枚を町民へ配布

12歳以上の全町民4,635人に使い捨てマスク(1人当たり20枚)及び繰り返し使えるマスク(1人当たり1枚)を配布。(配布したマスクは島内外から寄贈されたもの)

8月23日 **【来島自粛要請を解除】**

議論の論点

○ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が、奄美群島に中長期的に及ぼす影響を踏まえ、今後どのように奄美群島の振興を図るか。

1. 新たな日常づくり

- ・「新しい生活様式」の広がり
- ・現状の医療体制の中での感染予防策 等

2. 観光振興の在り方

- ・「新しい生活様式」に沿った奄美群島の観光の模索
- ・奄美群島における観光客の受入体制 等